

設計内訳明細書

兵庫県公立大学法人兵庫県立大学（姫路工学キャンパス）
体育館 空調設備更新工事

兵庫県公立大学法人兵庫県立大学

■諸経費・共通仮設費

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	工 事 名		兵庫県公立大学法人兵庫県立大学（姫路工学キャンパス） 体育館 空調設備更新工事					
	施工場所		姫路市書写 2 1 6 7					
	工 期		令和 8 年 1 2 月 2 8 日 まで					
	請負金額		金			円		
I	直接工事費			1.0	式			
II	共通仮設費		工期 1 0 ヶ月	1.0	式			
	純工事費							
III	諸経費							
	現場管理費			1.0	式			
	工事原価							
	一般管理費			1.0	式			
	工事価格							
IV	消費税相当額			10%				
	合 計							

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
I	直接工事費							
A	体育館空調設備工事							
1	機器費			1.0	式			
2	工事費（空調設備）			1.0	式			
	工事費（電気設備）			1.0	式			
	工事費（建築工事）			1.0	式			
B	武道場・多目的室空調設備工事							
1	機器費			1.0	式			
2	工事費（空調設備）			1.0	式			
	工事費（電気設備）			1.0	式			
	工事費（建築工事）			1.0	式			
C	ガス工事							
1	バルク設備材費			1.0	式			
2	供給設備工事			1.0	式			
3	配管工事			1.0	式			
D	付帯工事（備蓄倉庫移設）			1.0	式			
	合 計			1.0	式			

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A	体育館空調設備工事							
	機器費							
	GHP-1		20馬力相当ハイパワープラス室外機U-	1	台			親機
	電源切替盤（3台用）		昇降トランス付 HPE-DK-TSHD3	1	台			
	自立運転スイッチ盤		HPE-KOS	1	台			
	分岐管		SGP-PCH1400K	3	台			
	GHP-2		20馬力相当ハイパワープラス室外機U-	1	台			子機
	分岐管		SGP-PCH1400K	3	台			
	GHP-3		20馬力相当ハイパワープラス室外機U-	1	台			子機
	分岐管		SGP-PCH1400K	3	台			
	GHP-4		20馬力相当ハイパワープラス室外機U-	1	台			親機
	電源切替盤（2台用）		昇降トランス付 HPE-DK-TSHD2	1	台			
	自立運転スイッチ盤		HPE-KOS	1	台			
	分岐管		SGP-PCH1400K	3	台			

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	GHP-5		20馬力相当ハイパワープラス室外機U-	1	台			子機
	分岐管		SGP-PCH1400K	3	台			
	GHP1-1 天吊型室内機		S-G140TU1	4	台			
	多機能ワイヤードリモコン		CZ-10RT5C	1	台			
	鍵付きリモコンボックス		KRCB37-1	1	台			
	GHP2-1 天吊型室内機		S-G140TU1	4	台			
	多機能ワイヤードリモコン		CZ-10RT5C	1	台			
	鍵付きリモコンボックス		KRCB37-1	1	台			
	GHP3-1 天吊型室内機		S-G140TU1	4	台			
	多機能ワイヤードリモコン		CZ-10RT5C	1	台			
	鍵付きリモコンボックス		KRCB37-1	1	台			
	ドレンアップキット		K-DU202K	2	台			
	出口ドレンホース		K-DUP1G	2	台			
	保護ケーシング		K-DUP8H	2	台			
	HA接続キット		K-DUP13H	2	台			
	HAコネクター		623-173-1287	2	台			

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	GHP4-1 天吊型室内機		S-G140TU1	4	台			
	多機能ワイヤードリモコン		CZ-10RT5C	1	台			
	鍵付きリモコンボックス		KRCB37-1	1	台			
	GHP5-1 天吊型室内機		S-G140TU1	4	台			
	多機能ワイヤードリモコン		CZ-10RT5C	1	台			
	鍵付きリモコンボックス		KRCB37-1	1	台			
	トレンアップキット		K-DU202K	2	台			
	出口トレンホース		K-DUP1G	2	台			
	保護ケーシング		K-DUP8H	2	台			
	HA接続キット		K-DUP13H	2	台			
	HAコネクター		623-173-1287	2	台			
	計							

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A	体育館空調設備工事							
	工事費（空調設備）							
	室外機搬入・搬出		クレーン作業	1	式			
	室内機つり込み費			1	式			
	室内機防球ガード（SUS製）		底面扉型	20	台			
	機器固定・取付金物			1	式			
	同上取付費			1	式			
	試運転調整費		集中リモコン設定共	1	式			
	冷媒用被覆銅管		15.88*9.52 保温厚:ガス20mm, 液:10mm	52	m			
	冷媒用被覆銅管		22.22*9.52 保温厚:ガス20mm, 液:10mm	32	m			
	冷媒用被覆銅管		25.4*12.7 保温厚:ガス20mm, 液:10mm	29	m			
	冷媒用被覆銅管		28.58*12.7 保温厚:ガス20mm, 液:10mm	3	m			
	冷媒用被覆銅管		28.58*15.88 保温厚:ガス20mm, 液:10mm	60	m			
	冷媒用被覆銅管		31.75*15.88 保温厚:ガス20mm, 液:10mm	9	m			
	冷媒用被覆銅管		31.75*19.05 保温厚:ガス20mm, 液:10mm	190	m			
	硬質塩化ビニル管		VP25	10	m			
	硬質塩化ビニル管		VP30	69	m			
	硬質塩化ビニル管		VP40	22	m			
	硬質塩化ビニル管		カラー-VP25	3	m			

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	硬質塩化ビニル管		カラーVP30	56	m			
	硬質塩化ビニル管		カラーVP40	8	m			
	断熱ドレンホース		25A	12	m			
	異形管・接手類			1	式			
	吊金物			1	式			
	配管工事費			1	式			
	屋外冷媒管ラッキング工事		SUS	1	式			
	屋内ドレン管保温工事			1	式			
	壁貫通・雨仕舞			1	式			
	排水管側溝接続工事			1	式			
	形鋼振止支持架台		屋外SUS	1	式			
	耐圧・気密・通水試験費			1	式			
	真空引き・冷媒チャージ		R410A共	1	式			
	室内外連絡線配線工事			1	式			
	リモコンスイッチ工事			1	式			
	集中リモコン工事			1	式			
	高所作業車			1	式			
	雑材消耗品			1	式			
	仮設養生・清掃費			1	式			

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A	体育館空調設備工事							
	工事費（空調設備）							
	電源切替盤一次側配線工事		配管・配線共	1	式			
	電源切替盤二次側配線工事		配管・配線共	1	式			
	室内機電源工事		配管・配線共	1	式			
	発電制御工事		配管・配線共	1	式			
	非常用コンセント工事		配管・配線共	1	式			
	自立運転スイッチ工事		配管・配線共	1	式			
	既設分電盤改造			1	式			
	雑材消耗品			1	式			
	場内小運搬・雑工事			1	式			
	運搬・雑費			1	式			
	諸経費			1	式			
	計							

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
A	体育館空調設備工事							
	工事費（建築工事）							
	コンクリート基礎工事			1	式			
	ネットフェンス工事		1,800H 扉×1か所 基礎共	1	式			
	天井点検口		450*450	13	箇所			
	埋設ドレン配管張り・復旧工事			1	式			
	雑材消耗品			1	式			
	場内小運搬・雑工事			1	式			
	運搬・雑費			1	式			
	諸経費			1	式			
	計							

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
B	武道場・多目的室空調設備工事							
	機器費							
	GHP-6		20馬力相当ハイパワープラス室外機U-	1	台			親機
	電源切替盤（2台用）		昇降トランス付 HPE-DK-TSHD2	1	台			
	自立運転スイッチ盤		HPE-KOS	1	台			
	分岐管		SGP-PCH1400K	5	台			
	GHP-7		20馬力相当ハイパワープラス室外機U-	1	台			子機
	分岐管		SGP-PCH1400K	5	台			
	GHP6-1 天吊型室内機		S-G90UU1	2	台			
	昇降ゲル付天井パネル		CZ-160KSU7B	2	台			
	多機能ワイヤードリモコン		CZ-10RT5C	1	台			
	鍵付きリモコンボックス		KRCB37-1	1	台			
	GHP6-2 天吊型室内機		S-G80UU1	4	台			
	昇降ゲル付天井パネル		CZ-160KSU7B	4	台			
	多機能ワイヤードリモコン		CZ-10RT5C	2	台			
	鍵付きリモコンボックス		KRCB37-1	2	台			

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	GHP7-1 天吊型室内機		S-G90UU1	4	台			
	昇降ゲリル付天井パネル		CZ-160KSU7B	4	台			
	多機能ワイヤードリモコン		CZ-10RT5C	2	台			
	鍵付きリモコンボックス		KRCB37-1	2	台			
	GHP7-2 天吊型室内機		S-G80UU1	2	台			
	昇降ゲリル付天井パネル		CZ-160KSU7B	2	台			
	多機能ワイヤードリモコン		CZ-10RT5C	1	台			
	鍵付きリモコンボックス		KRCB37-1	1	台			
	昇降操作専用リモコン		CZ-10RWU3G	3	台			
	計							

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
B	武道場・多目的室空調設備工事							
	工事費（空調設備）							
	室外機搬入・搬出		クレーン作業	1	式			
	室内機つり込み費			1	式			
	機器固定・取付金物			1	式			
	同上取付費			1	式			
	試運転調整費		集中リモコン設定共	1	式			
	冷媒用被覆銅管		15.889.52 保温厚:ガス20mm,液:10mm	102	m			
	冷媒用被覆銅管		25.4*12.7 保温厚:ガス20mm,液:10mm	15	m			
	冷媒用被覆銅管		28.58*15.88 保温厚:ガス20mm,液:10mm	15	m			
	冷媒用被覆銅管		31.75*15.88 保温厚:ガス20mm,液:10mm	26	m			
	冷媒用被覆銅管		31.75*19.05 保温厚:ガス20mm,液:10mm	82	m			
	硬質塩化ビニル管		VP25	23	m			
	硬質塩化ビニル管		VP30	68	m			
	硬質塩化ビニル管		VP40	7	m			
	硬質塩化ビニル管		カラーVP40	4	m			
	異形管・接手類			1	式			
	吊金物			1	式			
	配管工事費			1	式			

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	屋外冷媒管ラッキング工事		SUS	1	式			
	屋内ドレン管保温工事			1	式			
	壁貫通・雨仕舞			1	式			
	排水管側溝接続工事			1	式			
	形鋼振止支持架台		屋外SUS	1	式			
	耐圧・気密・通水試験費			1	式			
	真空引き・冷媒チャージ		R410A共	1	式			
	室内外連絡線配線工事			1	式			
	リモコンスイッチ工事			1	式			
	集中リモコン工事			1	式			
	高所作業車			1	式			
	雑材消耗品			1	式			
	仮設養生・清掃費			1	式			
	場内小運搬・雑工事			1	式			
	運搬・雑費			1	式			
	諸経費			1	式			
	計						0	

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
B	武道場・多目的室空調設備工事							
	工事費（電気設備）							
	電源切替盤一次側配線工事		配管・配線共	1	式			
	電源切替盤二次側配線工事		配管・配線共	1	式			
	室内機電源工事		配管・配線共	1	式			
	発電制御工事		配管・配線共	1	式			
	非常用コンセント工事		配管・配線共	1	式			
	自立運転スイッチ工事		配管・配線共	1	式			
	既設分電盤改造			1	式			
	雑材消耗品			1	式			
	場内小運搬・雑工事			1	式			
	運搬・雑費			1	式			
	諸経費			1	式			
	計							

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
B	武道場・多目的室空調設備工事							
	工事費（建築工事）							
	コンクリート基礎工事			1	式			
	ネットフェンス工事		1,800H 扉×1か所 基礎共	1	式			
	天井点検口		450*450	18	箇所			
	天井開口・補強費			12	箇所			
	埋設ドレン配管張り・復旧工事			1	式			
	雑材消耗品			1	式			
	場内小運搬・雑工事			1	式			
	運搬・雑費			1	式			
	諸経費			1	式			
	計							

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	コンクリート基礎工事			1	式			
	ネットフェンス工事		1,800H 扉×1か所 基礎共	1	式			
	天井点検口		450*450	13	箇所			
	埋設ドレン配管研り・復旧工事			1	式			
	雑材消耗品			1	式			
	場内小運搬・雑工事			1	式			
	運搬・雑費			1	式			
	諸経費			1	式			
	計							

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
C	ガス工事							
	バルク設備材費							
	バルク貯槽本体		985Kg	1	台			
	バルク運搬費			1	式			
	30K 調整器		CT30F	1	式			
	25A ホールハルブ		CT25U	1	式			
	災害対策用ガス栓セット			1	式			
	フレートホース		TF1825A-300L	1	本			
	SBK16MT1		リペクラ仕様	1	台			
	計							

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	供給設備工事							
	バルク設置費			1	式			
	ガスメーター設置費			1	式			
	バルク用調整器取付費			1	式			
	雑材、部材費			1	式			
	レッカー			1	式			
	諸経費			1	式			
	計							

	名 称	品 種	寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
	配管工事							
	メイン配管		SGP32A	10	m			
	メイン配管		SGP25A	12	m			
	機器接続費		室外機	7	台			
	配管部材費		SGP32A	10	m			
	配管部材費		SGP25A	12	m			
	雑材、部材費			1	式			
	配管部材費		フレキコック 燃焼器用ホース 400mm	7	本			
	諸経費			1	式			
	計							

空調設備更新工事特記仕様書

2025. 8. 1 ver. 1.0

I 建物概要

建 物 名	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法令 別表第一の区分	耐震安全性の分類※ 特定の施設 一般の施設
体育館	鉄筋コンクリート造	2	2,398.32	7 項	○

※「特定の施設」及び「一般の施設」の定義は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説(令和3年版)」による。

II 特記仕様

1 本仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部の以下の仕様書による。
「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）」（以下「標準仕様書」という）
「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和7年版）」（以下「標準図」という）
「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）」（以下「改修仕様書」という）

2 項目及び特記事項は、●印のついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は※印を適用する。

3 工事種目に電気設備工事、建築工事等を含む場合、各種目の図面による。

4 工事下請業者の決定にあたっては県内業者を、また、使用資材の採用にあたっては県内産業・資材を優先して選定する。

項 目	特 記 事 項
● 施 工 条 件	本工事は、標準仕様書に記載のとおり、原則として行政機関の休日（以下「休日」という。）に施工を行わないこと。 なお、休日に施工を行う必要がある場合は監督職員及び施設管理者等と調整のうえ行うこと。
● 実 施 工 程 表	工事の着手に先立ち施工上密接に関連する工事の総合試運転調整や官公署その他の関係機関の検査等を適切に見込んだ概成工期を原則として実施工程表に明記し監督職員の承諾を受けること。
※ 設 備 機 材 等	(1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、証明となる資料又は外部機関が発行するこれらの品質及び性能等が評価されたことを示す書面の写しを監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。 (2) 図中「グリーン購入法適用品」の記載のあるものは、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」による特定調達物品を示す。
※ 設備機能上の協議	図面において機能上疑義が生じた場合、検討したのち監督職員と協議する。
※ 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書第1編1. 4. 4及び5による。
※ 化学物質を放散させる建築材料等の使用制限	本工事に使用する建築材料等は、設計書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし次の要件を満たすものとする。 (1) 接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを分散しない又は発散が極めて少ない材料で、以下に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ホルムアルデヒドを発散しないものとは発散量が規制対象外のもの、発散が極めて少ないものとは発散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料がない場合は第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする。 (ア) ホルムアルデヒドの発散量が「規制対象外」に該当するもの (a) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 (b) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (イ) ホルムアルデヒドの発散量が「第三種」に該当する建築材料 (a) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 (b) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (2) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン、エチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (3) 接着剤は可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
○ 電気保安技術者	※ 適用する ○ 適用しない 電気工作物の種別 ※ 事業用電気工作物 ○ 一般用電気工作物
○ 技 能 士	適用する技能検定の職種及び作業の種別は以下による。 ○ 配管（建築配管作業） ○ 建築板金（ダクト板金作業） ○ 冷凍空調調和機器施工（冷凍空調調和機器施工作業） ○ 熱絶縁施工（保温保冷工事作業）
○ 施 工 調 査	施工計画調査は、改修仕様書第1編1. 5. 2による 事前調査の内容は次のとおり。 調査項目 ・改修対象建物及び建物内設備配管、ダクト等、屋外地中配管等埋設物 調査範囲 ・本工事と取り合いのある範囲及び本工事の施工により影響が及ぶ範囲 調査方法 ・スケール、レベル、目視、要所の試掘等による他、監督職員との協議による。
○ 地中埋設物等	標準仕様書又は改修仕様書によるほか、下記による。 (1) 施工前に、当該工事に係わる地中埋設物等（建物内又は既存コンクリート内の既設配管・配線も含む）について事前調査を行うこと。 (2) 既設構造物の位置及び既設埋設配管の経路等が不明な場合は、探査方法及び試験方法を監督職員と協議すること。
○ 非 破 壊 調 査	はつり及び穴開け、あと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行うこと。 施工場所を鉄筋探査機により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨しを行うこと。 放射線透過検査 ※ 行わない ○ 行う（ヶ所程度）
※ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力・水・ガス及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。
※ 工事用仮設物	構内につくることが ※ できる ○ できない
※ 監督職員事務所	※ 設けない ○ 設ける（ 号）
※ 備 品 等	○ 以下の備品を準備すること。 ○ 長靴 ● 保護帽 ○ 安全靴 ○ 壁落制止用器具（安全帯）
※ 交 通 誘 導 員	※ 設けない ○ 設ける（ ○ 交通誘導の専門的知識及び技能保有者 ○ 1・2級交通誘導警備検定合格者）
※ 足場・さん橋類	別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。 ※ 本工事で設ける場合は標準仕様書第2編4. 1. 1又は改修仕様書第1編2. 2. 2. 1によるほか、足場の設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 また足場の種別については次による。 なお、単管足場、枠組足場を用いる場合における設置場所については図示による。 内部足場 ○ 脚立、可搬式作業台 ○ 移動式昇降足場 ○ 枠組足場 ○ くさび緊結式足場 ○ 単管足場 ○ 移動式足場（ローリングタワー） ○ 高所作業車 外部足場 ○ 枠組足場 ○ くさび緊結式足場 ○ 単管足場 ○ 移動式足場（ローリングタワー） ○ 高所作業車
※ 労 務 費 調 査	労務費調査を求められた場合は、調査に協力し、下請け業者と共に調査に立会をすること。
○ 発生材の処理等	(1) 標準仕様書第1編1. 3. 9又は改修仕様書第1編第5章による。 引渡しを要するもの ※ なし ○ あり（ ） 70系冷媒使用機器の撤去 ※ なし ○ あり（ ） （上記機器類の撤去は改修標準仕様書第3編2. 4. 3及び同第5編2. 3. 2による） 家電リサイクル法対象機器 ※ なし ○ あり（ ） (2) 冷媒については関係法令に従い適切に破壊処理を行う（家電リサイクル法対象機器を除く） 運搬及び処分費は ※ 本工事 (3) 撤去前に内容物の回収を要する機器・配管（吸収液・廃油等）は、 ※ なし ○ あり（ ）

一

般

事

項

共

通

適

用

目

○ 建設発生土の処分	※ 構内搬出適切処理 ○ 構内指示の場所にたい積 ○ 構内指示の場所に敷きならし																																																										
※ 工 事 写 真	国土交通省大臣官庁官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領（令和5年版）」及び（一社）公共建築協会編集「工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編（令和5年版）」を参考に、履行写真（着手前及び完了後）及び施工写真（施工工程毎の状況、安全対策や仮設の状況、環境対策の状況、品質管理状況等）について工事看板と共に撮影し、必要事項を記載しアルバムに整理すること。なお、同一施工場所における写真は同一の位置・方向・角度から撮影すること。 また、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで「デジタル工事写真の小黑板情報電子化」の対象工事とすることができる。対象工事では、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」（R5. 3. 1 国営建技第14号）に従って工事写真の整理、納品等を実施すること。																																																										
※ 完 成 図 書	(1) 完成図 完成図の作成にあたって、設計図を利用することが ※ 可 ○ 不可 (2) 詳細は「建築工事関係資料」による。 なお、「建築工事関係資料」に記載のない以下の（ア）～（エ）については、設備課と現地の両方にデータで提出する。ただし（ア）（イ）については、紙資料も作成し、現地に提出すること。 (ア) 保守に関する指導案内書 特に法定点検が必要な機器は、指導案内書に点検頻度、点検資格者を記載するとともに施設管理者へ説明すること。 (イ) 官公庁申請・提出書類（建設リサイクル法、アスベスト、騒音・振動、消防、給排水等） (ウ) 機器完成図、試験成績表 (エ) 官公庁との打合せ議事録等																																																										
○ 著作権・利用権等	本工事において取得する施工図等の著作権に係る当該建物に限る利用権は、発注者に要請すること。																																																										
○ 伸 縮 管 継 手	鋼管用伸縮管継手は右記による ※ ベローズ形 ○ スリプ形																																																										
○ フレキシブルジョイント	機器廻りに取付けするフレキシブルジョイントは、鋼板に対してはベローズ形、FRPに対しては合成ゴム製とする																																																										
○ 配管の建物導入部の変位吸収等	建物導入部配管の変位吸収は、標準図面4～6のうち下記による ○ フレキシブルジョイント ○ ボールジョイント ○ スリクッション ○ 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接続する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用枠を設ける																																																										
○ 耐 震 措 置	(1) 耐震措置の計算及び施工方法について標準仕様書、改修仕様書、標準図及び図面に記載なきものは独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」による。 (2) 次の設計用水平震度及び鉛直震度により、据付ボルト・アンカーボルト等の耐震性能を確認し、監督職員の承諾を受ける。 (ア) 設計用水平震度 ※ 下表による ○ 図示による <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">※ 特定の施設</th><th colspan="2">○ 一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階・屋上・塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振設置機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中 間 階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振設置機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地階・1 階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振設置機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table> 屋外に設置する機器は、建物の耐震安全性の分類に準ずるが、敷地内に「特定の施設」と「一般の施設」が混在する場合は「特定の施設」を適用する。 上層階とは、2～6階建の建物においては最上階、7～9階建の建物においては上層2階、10～12階建の建物においては上層3階、13階以上の建物においては上層4階のことをいう。 中間階とは、地下階及び1階を除く各階で、上層階に該当しない階のことをいう。 重要機器は図示による他、以下のものをいう。 ただし、防災機器以外の重量100kg未満の機器は除くものとする。 重要機器：防災機器、受水槽、発電機装置、火気使用の機器、100RTを越える冷凍機・冷却塔等 (イ) 鉛直震度 ※ 水平震度の1／2とする ○ 図示による		機器種別	※ 特定の施設		○ 一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階・屋上・塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0	中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	地階・1 階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
	機器種別			※ 特定の施設		○ 一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階・屋上・塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地階・1 階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
※ アンカー等	(1) 屋外や床下ビット等多湿箇所において機器等を固定するアンカー及び配管支持金物等については、原則としてステンレス（SUS304）製のアンカーボルト・ナット、鋼材を用いること。また、機器はダブルナットで固定するものとし、その際は焼き付き防止措置を施すこと。 (2) あと施工アンカー等を施工する場合は、改修仕様書第2編第6章に用いるアンカーとし、引張試験器等による試験を実施のうえ、施工写真及び報告書を提出すること。試験内容は監督職員との協議による。 ○ 行わない																																																										
○ 一般用弁	標準仕様書第2編2. 2. 1によるほか、下記による。 水道直結部及び図面特記部の耐圧はJIS又はJV10K、その他はJIS又はJV5Kとする。 給水及び給湯に用いる弁類は厚生労働省基準に準じた鉛レスとする。																																																										
○ ステンレス鋼管の接合	(1) 呼び径60S以下：拡管式接合（締込み忘れ防止機構付） 水道直結部及び図面特記部の耐圧はJIS又はJV10K、その他はJIS又はJV5Kとする。 給水及び給湯に用いる弁類は厚生労働省基準に準じた鉛レスとする。 (2) 呼び径75S以上：○ フランジ接合（ｽﾌﾗﾝｼﾞ加工） ○ 溶接接合 ○ ｻﾌﾞｼﾞﾝｸﾞ形管継手接合 フランジのガスケットは、ジョイントシートを、四ふっ化エチレン樹脂（PTFE）ではさみ込んだものとする。																																																										
○ フランジ接合	塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管の100A以上はフランジ接合とする。																																																										
○ 転道ねじによる接合	配管用炭素鋼鋼管及びポリ粉体鋼管で50A以下の配管に限り転道ねじとする。																																																										
○ 溶 接 接 合	配管の溶接接合は標準仕様書第2編2. 5. 15による。 溶接部の非破壊検査は ※ 適用しない ※ 適用する（○放射線透過検査 ○浸透探傷検査又は磁粉探傷検査）																																																										
○ マンホール蓋等	弁柵、コンクリート柵及びプラスチック柵等の蓋（ヒンジ付は除く）は盗難防止のためにステンレス（SUS304）製の鎖を取付けること。また、蓋には原則として用途を示す文字を入れること。																																																										
○ 地中配管の埋戻し土	※標準仕様書第2編2. 7. 1（5）による。 ○被覆又は防食処理された管を地中配管する場合は、標準仕様書第2編2. 7. 1（5）による。 その他の管を地中配管する場合は、すべて、堀附土の中の良質土を使用する。																																																										

項目

特記事項

○ 地中配管の防食処置

配管の防食処理は、標準仕様書第2編2. 7. 3の当該事項による。
○ 地中埋設の排水用塩ビライニング鋼管は、防食処理を行う。

● 保温及び塗装

(1) ロックウール保温材・グラスウール保温材及びポリスチレンフォーム保温材が併記されている箇所は、いずれかを使用する。但し、給水管、排水管用で保温する場合、床下・暗渠内・屋外露出及び浴室・厨房等の多湿箇所はポリスチレンフォーム保温材とする。
(2) 屋外露出配管（冷媒管を除く）の保温外装材は次による。
※ ステンレス（SUS304）鋼板 ○ 溶融アルミニウム・亜鉛鉄板
(3) 屋内露出配管（冷媒管を除く）の保温外装材は原則合成樹脂カバー2とする。
(4) 各場所に露出の保温を施さないダクト及び配管の塗装は以下による。
屋外 ※ 要 ○ 不要 書庫 ○ 要 ※ 不要
車庫 ○ 要 ※ 不要 機械室 ○ 要 ※ 不要
倉庫 ○ 要 ※ 不要 一般居室、廊下 ※ 要 ○ 不要

○ エポキシ樹脂ライニング

エポキシ樹脂ライニングの乾燥方法は下記による。
※ 加熱硬化 ○ 常温硬化

● 電線及び電線管

電線及び電線管等については標準仕様書第4編第1章第5節による。

● ボ ッ ク ス

PF管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを原則として使用する。

● 容量等の表示

機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は表示された数値以下とする。

● 誘 導 電 動 機

低圧三相誘導電動機の規格は、JISG4213（低圧三相かご形誘導電動機—低圧ﾄﾍﾞﾗﾅｰﾀﾞ）による。
ただし、適用範囲外についてはJISG4212（高効率低圧三相かご形誘導電動機）による。

● 配管の吊り及び支持

(1) ステンレス鋼管（Su）を使用する場合、たわみを防止するために横走り管の吊り及び振れ止め支持間隔は鋼管に準じて行う。
(2) ステンレス鋼管の支持及び固定に鋼製又は鉄製製の金物を使用する場合は、合成樹脂を被覆した支持及び固定金具を使用する。なお、被覆が破損しない様に締付ける。
(3) 横走り管を立て管バンドで支持・固定してはならない。

○ 鋼 材 工 事

機器附属金物及び配管、ダクトの支持金物は標準仕様書第2編第4章6節の当該事項による。

○ 防 煙 ﾀﾝﾊﾞｰ

復帰方式は ※ 遠方復帰式 電気式（定格入力 DC24V 0.6A以下） ○ 手動復帰式

○ 防 火 ﾀﾝﾊﾞｰ

防火防煙ダンパー

○ ダクト・チャンパー用点検口

ダクト及びチャンパーには点検口を設けること。取付箇所は下記による。
(1) 厨房排気ダクト（ダクト及びダンパーの清掃が容易なように設ける。最大間隔は5mとする）
(2) 送風機の吸込み側（＃3または羽根径500mm以上）
(3) 空気調和機、送風機の吐出し側及び吸込み側に取付けた内貼りのあるチャンパー

○ 消 音 内 貼

ダクト及びチャンパー、消音エルボの内貼り（箇所図示）は下記による。
(1) 消音内貼り部分の外部保温は ※ 不要 ○ 要
(2) チャンパーの寸法は、外形寸法を示す。（但し、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す）
(3) 点検口の内貼り仕様又は断熱戸とする。
(4) ダクトの消音内貼部における保温種別は、サプライチャンパーと同様とする。

○ ドレ ン 抜 き

外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー類に設ける。

○ 防 火 区 画

○ 平面階 ○ 図示 ○

○ 天井仕上区分

（ ）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

○ 掲 示 板

機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを記載した掲示板を設ける。

○ 他工事との取合い

(1) 建築工事との取合い

機 器 の 基 礎	工 事 内 容	本 工 事	別途建築工事	
はり、床、壁貫通スリーブ	屋内設備（受水槽を除く）	※	○	
	屋上設備（架台、アンカーボルトを除く）	○	※	
	屋外設備（架台、アンカーボルトを除く）	※	○	
床、壁貫通部の型枠	架台、アンカーボルト	※	○	
	特記した基礎（ ）	○	○	
	補強を要するもの	※	○	
	補強を要しないもの	※	○	
	施工後の穴埋め	※	○	
天井・壁の切り込み	補強を要するもの（壁類、ダクト、消火栓箱吹出口、吸込口、換気扇、大便器等の型枠）	※	○	
	下地の補強を要しないもの（補強共）	○	※	
	下地の補強を要しないもの	※	○	
	墨出し	※	○	
	施工後の穴埋め	※	○	
外壁取付ガラリ	ダクト、チャンパの取付枠及び防虫網を含む	○	※	
	換気扇の取付鋼枠	※	○	
	サッシパネル（ガラリ共）	○	※	
	地下ﾎﾞﾙﾄﾌｫﾝｸﾞｺﾝｸﾘｰﾄ躯体	内部充填乾燥砂を含む（消防署への申請は本工事）	○	※
	防 油 堤	油サージスタックの防油堤	○	※
撤 去 工 事	機器撤去後の復旧及び補修（仕上げ含む）	※	※	

(2) 電気設備工事との取合い

機 器 附 属 の 制 御 盤 以 降 の 二 次 側 配 管 ・ 配 線 （ 接 地 共 ）	工 事 内 容	本 工 事	別途電気設備工事
機器附属の制御盤への一次側電源供給配管・配線（接地地共）	※	○	
自動制御盤と動力制御盤への電源供給配管・配線（接地地共）	○	※	
自動制御盤と調節、検出、制御機器との配管・配線	※	○	
ファンコイルユニット・熱交換ユニット・換気扇本体と附属操作スイッチ間の渡り配管・配線（接地地共）	※	○	
パッケージ型空調機の室内外間の信号配管・配線	※	○	
パッケージ型空調機の室内外間の電源供給（但しｽﾏﾙﾄﾊﾞｯﾜｰｼﾞ型は除く）	※	○	
パッケージ型空調機の操作ｽｲｯﾁ及び、集中ｺﾝﾄﾚｰﾀｰとの渡り配管・配線	※	○	
煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管・配線	○	※	
小便器用節水装置への電源供給配管・配線	○	※	
電極棒及び電極帯	※	○	
地震感知器とのバーナー間の配管・配線	※	○	
地震感知器と緊急遮断開閉の配管・配線	※	○	
現地盤から電気中央監視・警報盤への配管・配線	○	※	
現地盤から機械中央監視・警報盤への配管・配線	※	○	

工事名称

姫路工学キャンパス空調設備更新工事

作 図

令和 年 月

図 面 名 称

縮 尺

空調設備更新工事特記仕様書(1)

兵 庫 県 立 大 学 姫 路 工 学 キ ャ ン パ ス 総 務 課

図 面 番 号

全 枚

M－

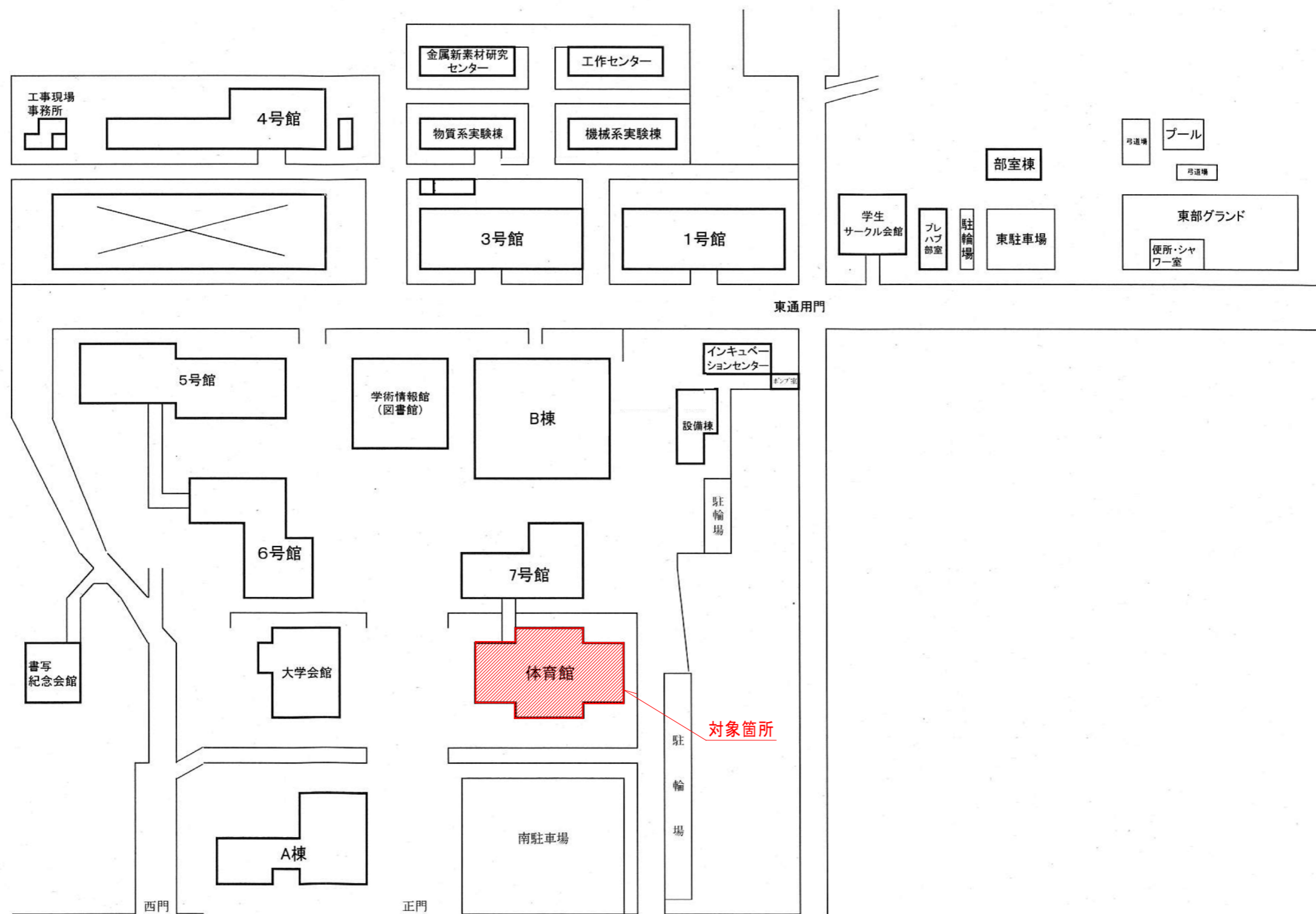
2 号

空調設備	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
	●主方式	(1)中央方式 ○定風量単一ダクト方式 ○各階ユニット方式 ○ファンコイルユニット・ダクト併用方式 (2)個別方式 ○パッケージ方式 ●マルチパッケージ方式	○変風量単一ダクト方式 ○ファンコイルユニット・ダクト併用方式 ○	○ダクトの種類 ※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト)) ○ダクトの工法 ○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法(適用範囲は空気調和設備の項目と同様) 注: コーナーボルト工法は、低圧ダクト(常用圧力±500Pa以下)で、かつ長辺の長さ1,500mm以下のダクトに適用可 ※ フランジ用ガスケットの厚みはアングル工法ダクトは3mm以上、コーナーボルト工法ダクトは5mm以上とする。	○ダクトの工法 ○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法(適用範囲は空気調和設備の項目と同様) 注: コーナーボルト工法は、低圧ダクト(常用圧力±500Pa以下)で、かつ長辺の長さ1,500mm以下のダクトに適用可 ※ フランジ用ガスケットの厚みはアングル工法ダクトは3mm以上、コーナーボルト工法ダクトは5mm以上とする。	○排水用塩ビライニング銅管の、継手との接合に際しての、管の先端と継手本体の差し込み段差との間の、管の熱伸縮を緩和する隙間は ○不要 ○要 とする。 (8) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP)の保温は、ビニル管に準ずる。 (9) 塩ビ小口径桝やVU管にVP管を接続する場合は、管底高を揃えるためにVP変換ソケットを使用する。
	●主要熱源機器	○吸収冷凍機() ○吸収冷凍機 ○ボイラー ○圧縮冷凍機(フリンジユニット、ヒートポンプユニット、遠心冷凍機、スクリュー冷凍機) ●パッケージ形空気調和機(○空冷 ○水冷) (○EHP ●GHP ○)	○ボイラー	○ボイラー	○ボイラー	○ボイラー
	○設計時の温湿度条件	場所 屋内(調整目標値) 一般事務室 ○ ○ 室 時期 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 夏期 ℃ % ℃ % ℃ % ℃ % 冬期 ℃ % ℃ % ℃ % ℃ %	○ ○ 室	○ ○ 室	○ ○ 室	○ ○ 室
	○ダクトの種類	※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト)) ○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 ○共板フランジ工法 ○スリッドオフフランジ工法 注: コーナーボルト工法は、低圧ダクト(常用圧力±500Pa以下)で、かつ長辺の長さ1,500mm以下のダクトに適用可 ※ フランジ用ガスケットの厚みはアングル工法ダクトは3mm以上、コーナーボルト工法ダクトは5mm以上とする。	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 ○共板フランジ工法 ○スリッドオフフランジ工法 注: コーナーボルト工法は、低圧ダクト(常用圧力±500Pa以下)で、かつ長辺の長さ1,500mm以下のダクトに適用可 ※ フランジ用ガスケットの厚みはアングル工法ダクトは3mm以上、コーナーボルト工法ダクトは5mm以上とする。	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○ダクトの分岐方法	※割込み工法 ○直付け工法	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○吹出口及び吸込口ボックスの材質	※亜鉛鉄板製 ○ガラスウール製	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○チャンパー等	シーリングディフューザー及び線状吹出口には下記のチャンパーを設ける シーリングディフューザー 線状吹出口 形番 寸法 記号 寸法 12.5 350×350×300H×0.6t BL-S (吹出口長さ+100) ×300×350H×0.6t 15 400×400×300H×0.6t BL-D (吹出口長さ+100) ×300×350H×0.6t 20 450×450×300H×0.6t BL-T (吹出口長さ+100) ×300×350H×0.6t 25 500×500×300H×0.6t CL (吹出口長さ+100) ×300×350H×0.6t 30 550×550×300H×0.6t 消音内貼 ※要(標準仕様書第2編表2.3.4施工種別Lによる) ○不要	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○配管材料(図面特記部分は除く)	(1)冷温水管・膨張管・エア抜き管・膨張タンクより、ボイラー等への補給水管 ○配管用炭素鋼鋼管(白) ○ステンレス鋼管 ○耐熱性ライニング銅管 (2)冷却水管 ○配管用炭素鋼鋼管(白) ○ステンレス鋼管 ○塩ビライニング銅管 (3)蒸気給気管 ○配管用炭素鋼鋼管(黒) ○圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) (4)蒸気還管 ○圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) ○ステンレス鋼管 (5)油管 一般配管 ○配管用炭素鋼鋼管(黒) [トラフ内共] 地中配管(屋内及び屋外) ○ポリエチレン被覆銅管 (6)空調用給水管 ○硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ステンレス鋼管 ○塩ビライニング銅管 ○ポリ粉体銅管 (7)ドレン管 ○硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○耐火二層管(40φ以上) ○配管用炭素鋼鋼管(白) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管 ○排水用塩ビライニング銅管(40φ以上) ○硬質ポリ塩化ビニル管(カーVP) (8)冷媒管 ○銅管 ○銅管 ●断熱材被覆銅管 ※ステンレス鋼管はSUS304製とする。	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
○丸ダクト材料(図面特記部分は除く)	※スパイラルダクト(亜鉛鉄板)	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○保温及び塗装(図面特記部分は除く)	標準仕様書の当該事項による。ただし、下記部分は本仕様とする。 (1)冷媒管の保温外装は下記による。 【屋内】 隠ぺい部 ○不要 ○要 露出部 ○保温化粧ケース(塩ビ) ○合成樹脂製カバー-2 ○ステンレス鋼板 ○塗装亜鉛系めっき鋼板(カー亜鉛鉄板) ○溶融7%ニッケル-亜鉛鉄板 【屋外】 ○ステンレス鋼板 ○溶融7%ニッケル-亜鉛鉄板 ○塗装亜鉛系めっき鋼板(カー亜鉛鉄板) ○保温化粧ケース(○樹脂製 ○溶融7%ニッケル-亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板製) ○保温化粧ケースの下部カバーは ○要 ○不要 とする (2)ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 (3)井・ストレーナなどの金属製カバー外装種別は、下記による。 イ) 屋内 ※塗装亜鉛系めっき鋼板(カー亜鉛鉄板) ○ステンレス鋼板 ○溶融7%ニッケル-亜鉛鉄板 ロ) その他 ○塗装亜鉛系めっき鋼板(カー亜鉛鉄板) ※ステンレス鋼板 ○溶融7%ニッケル-亜鉛鉄板 (4)加湿用給水タンクの保温は膨張タンクに準ずる。 (5)トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 (6)膨張管・補給水管の保温は冷温水管に準ずる。 (7)保温を施す膨張タンク等のふたの保温は ※要 ○不要 とする (8)蒸気管及び温水管等で火傷が想定される配管は火傷防止対策を行うこと。 (9)下記部分の冷却水配管は、保温(凍結防止)を行い、仕様は温水管の項に準ずる。 () (10)耐火二層管の保温 ※不要 ○要 保温を必要とする箇所のリサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管の保温 ※要 ○不要 (11)機械室、DS等の非空調室内及び天井裏の廻りダクトの保温 ※要 ○不要 ※ステンレス鋼板はSUS304製とする。	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○温度計	ボイラー及び貯湯タンク以外の温度計は下記による。 ※工業用バイメタル式温度計 ○ガード付きL形温度計 ○ ○メカニカル形 ○風速センサー形	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○オイルサービスタンク	(1)油面計 ※ゲージ式 ○ガラス管式 (2)油面制御装置の機能は下記による。 ○給油ポンプの起動、停止制御 ○返油ポンプの起動、停止制御 ○満油警報 ○減油警報 ○遠隔警報(○満油 ○減油)	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○地下式オイルタンク	(1)マンホール蓋 ※WPM-AW形 ○WPM-DW形 (2)設置方法 ○タンク室式(内部充填砂 ※別途建築工事 ○本工事) ○直埋式 (3)基礎杭 ※不要 ○要(※別途建築工事 ○本工事) (4)遠隔油面指示計 ※設ける ○設けない (5)漏えい検知設備 ※設ける ○設けない	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○鋼板製煙道	(1)厚さ ※3.2mm ○4.5mm (2)附属品 ○ばい煙濃度計取付座 ○ばいじん量測定口(直径90mm以上) ○伸縮継手 ○掃除口	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○ばい煙濃度計	○設けない ※設ける(電源はボイラー制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む) ※ファン付き ※ファン無し	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○瞬間流量計	※固定形 ○着脱可能形(測定用タッピング、本体)	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	

換気設備	項目	特記事項	項目	特記事項
	○ダクトの種類	※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法(適用範囲は空気調和設備の項目と同様) 注: コーナーボルト工法は、低圧ダクト(常用圧力±500Pa以下)で、かつ長辺の長さ1,500mm以下のダクトに適用可 ※ フランジ用ガスケットの厚みはアングル工法ダクトは3mm以上、コーナーボルト工法ダクトは5mm以上とする。	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○ダクトの分岐方法	※割込み工法 ○直付け工法	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○厨房排気ダクト	材質は ※ステンレス鋼板 ○亜鉛鉄板 とし、板厚は下記による。 [単位: mm] [単位: mm] 矩形ダクトの長辺 板厚 SUS鋼板 亜鉛鉄板 450以下 0.5以上 0.6以上 450を超え1,200以下 0.6以上 0.8以上 1,200を超え1,800以下 0.8以上 1.0以上 1,800を超えるもの 1.2以上 1.2以上 (消防予第206号(平成3.10.8)による) 円形ダクトの直径 板厚 SUS鋼板 亜鉛鉄板 300以下 0.5以上 0.6以上 300を超え750以下 0.6以上 0.8以上 750を超え1,000以下 0.6以上 0.8以上 1,000を超え1,250以下 0.8以上 1.0以上 1,250を超えるもの 1.2以上 1.2以上 (消防予第78号(平成4.4.9)による) 油脂を含む蒸気を発生する厨房設備の排気フードには、火災拡大を防止するため防火ダンパーを設ける。 ※ステンレス鋼板はSUS304製とする。	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
	○排気フード	(1)排気フードの補強、支持金物、接合剤等は亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ※ステンレス鋼板(SUS304又はSUS430、板厚1.0mm以上、補強共) (2)排気フード廻りに取り付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ※本工事 ○別途工事 (3)グリースフィルターの予備 ※不要 ○要	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○丸ダクト材料(図面特記部分は除く)	○スパイラルダクト(○亜鉛鉄板 ○SUS304) ○硬質ポリ塩化ビニル管(VU)	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○保温	(1)浴室・厨房(多湿箇所)の外気取入ダクトの保温 ※要 ○不要 (2)空調する部屋・廊下(共に天井裏含)、熱使用する部屋を通る以下の保温 ※要 ○不要 給気ダクト・外気取入ダクト・外壁から2mまでの排気ダクト(共にチャンパーボックス等含む) (3)上記(2)の対象外となる部屋を通る以下の保温(外壁から2mまで) ○要 ○不要 給気ダクト・外気取入ダクト・排気ダクト(共にチャンパーボックス等含む)	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○排煙対象部分	○廊下 ○事務所 ○図示 最大面積 m ²	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
	○ダクトの種類	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))
○ダクトの工法	※アングルフランジ工法(ガスケットの厚みは4mm以上とする)	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○ダクトの材料	※亜鉛鉄板製 ○普通鋼板製	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○排煙口	(1)形状 ○スリットフェース形 ○パネル形 ○ダンパー形 (2)排煙口の作動 ○手動(○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 (3)復帰装置 ○手元復帰式(○手動式 ○電気式) ○遠方復帰式 (4)ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途電気設備工事とする	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○保温	床下及び暗渠内の保温 ※不要 ○要(図示)	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○擬音装置	○AC100V式 ○電池式	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○小便器用節水装置	○一体型 ○分離型 電源供給方式は ○AC100V ○電池式	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○自動水栓	電源供給方式は ○AC100V ○電池式 手動スイッチは ※無し ○有り	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○大便器用便座	○温水洗浄便座(○瞬間式 ○貯湯式 ○温風乾燥機能) ○普通便座 ○暖房便座	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○温水洗浄便座リモコン	リモコン電源供給方式は ○AC100V ○無電源式 ○電池式	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○和風大便器耐火カバー	※設ける(ビツ内は除く) ○設けない	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○排水接続	衛生器具と塩ビ管の接続要領は標準図施工66による。 なお、洗面器用排水トラップと塩ビ管の接続に用いる排水アダプタは袋ネットを使用して固定すること。	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○給水方式	○水道直結直圧方式 ○水道直結増圧方式 ○高置タンク方式 ○ポンプ直送方式	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○配管材料(図面特記部分は除く)	(1)一般配管 ○硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○塩ビライニング銅管 ○ポリ粉体銅管(継手のコアの材質はポリエチレン製) ○ステンレス鋼管(SUS304) ○架構ポリエチレン管 (2)地中配管 【屋内】 ○硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○ポリ粉体銅管(SGP-PD, FPD) ○塩ビライニング銅管(SGP-VD, FVD) 【屋外】 ○水道用ポリエチレン二層管(PP) ○水道配水用ポリエチレン管(PE) ○硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○塩ビライニング銅管(VD, FVD) (3)給水引込 ○硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○水道用ポリエチレン二層管(PP)	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○弁類	飲料水系統の弁類は厚生労働省基準に準じた鉛レスとする。	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○水栓柱	※合成樹脂製(約70×70×1,300H) ○ステンレス製() ○アルミニウム合金製()	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○管の埋設深さ	(1)一般敷地 ○300mm (2)構内車両通路 ※600mm	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○加入金等	○不要 ○要(○本工事 ※別途工事) 名称:	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○排水方式	汚水と雑排水 屋内 ※分流水 ○合流式 屋外 ○分流水 ※合流式 ポンプ排水 ※あり ※なし 雨水と汚水雑排水 ※分流水(雨水は別途建築工事) ○合流式	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○放流先	(1)汚水 ※直放流下水管 ○浄化槽 (2)雑排水 ※直放流下水管 ○浄化槽 ○別途桝割溝(建築工事)	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	
○配管材料(図面特記部分は除く)	(1)屋内汚水管 ○排水用塩ビライニング銅管(40φ以上) ○耐火二層管(40φ以上) ○硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP) (2)屋内雑排水管 ○配管用炭素鋼鋼管(白) ○排水用塩ビライニング銅管(40φ以上) ○硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○耐火二層管(40φ以上) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP) (3)屋外汚水・雑排水管 ○硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○硬質ポリ塩化ビニル管(VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU) ○排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(REP-VU) (4)通気管 ○配管用炭素鋼鋼管(白) ○排水用塩ビライニング銅管(40φ以上) ○硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ○耐火二層管(40φ以上) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管(RF-VP) (5)流し等の床上露出部分の配管は、塩ビ管でもよい(保温不要)。 (6)ポンプアップ排水用の配管は ※コーティング銅管 ○配管用炭素鋼鋼管(白) とし、継ぎ手は、ねじ接合、フランジ接合、圧送排水鋼管用可とう継手又はハウジング形管継手	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(○B形有(長方形ダクト) ○C形有(円形ダクト))	

排水設備	項目	特記事項
	○排水試験継手	※要(図示箇所に取付ける) ○不要
	○煙試験	※不要 ○要
	○負担金	○不要 ○要(○本工事 ※別途工事)
	○給湯方法	○中央式 ○局所式
	○配管材料	○銅管(壁又は床埋設する場所は、保温付被覆銅管を使用してもよい) ○ステンレス鋼管(SUS304) ○ステンレス鋼管(SUS316) ○架構ポリエチレン管
	○保温	(1)膨張管・補給水管の保温は冷温水管に準ずる。 (2)ガス湯沸器の排気筒の隠ぺい箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5〜7によるh・(イ)・Ⅶとする。
	○消火設備の種類	○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○不活性ガス消火() ○泡消火 ○連結送水管 ○連結散水装置 ○フード等簡易自動消火装置 ○屋外消火栓
	○表示灯	屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。
	○配管材料(図面特記部分は除く)	(1)一般配管 ○配管用炭素鋼鋼管(白) ○圧力配管用炭素鋼鋼管(白) ○ステンレス鋼管(SUS304) (2)地中配管 ○硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ○消火用ポリエチレン管(PE) ○塩化ビニル外面被覆銅管(SGP-VS) 消火用充水タンクの保温を ※施工する(膨張タンクに準ずる) ○施工しない 消火用呼水タンクの保温を ※施工しない ○施工する(膨張タンクに準ずる) 消火用配管の保温を ※屋外露出部のみ施工する(給水管の保温仕様準ずる)
○官公庁のガイドライン	スプリンクラー設備については、「スプリンクラー設備等の耐震措置に関するガイドライン」(総務省消防庁作成)に基づき施工すること。	
●ガスの種類	○都市ガス13A 40.6MJ/Nm ³ (低位発熱量基準) ○ ○液化石油ガス(※50kg ○20kg ●バルク貯槽) ガス供給事業者名: ●ガスメータ ガス供給者より ※借用 ●購入 ただし、メータは ※購入 ○借用	
○配管材料	(1)一般配管 ※配管用炭素鋼鋼管(白) ○ ○ガス配管材料(2)地中配管(屋内及び屋外) ※ポリエチレン管(PE) ○合成樹脂被覆銅管(PLP) ※融着(PE) ○SGM工法 ○ネジ工法	
○地中配管の接合方法	標準仕様書第6編2.2.4又は3.2.4による。 なお、塗装を施す素地ごしらは標準仕様書第2編3.2.1.2により施工すること。	
○塗装	※溶接工法	
○ビット内施工法	※溶接工法	
○ガス漏れ警報器	○本工事(外部出力端子 ※無し ○有り) ○別途(電気設備工事)	
○負担金	○不要 ○要(○本工事 ※別途工事)	
○形式	※ユニット型(国土交通大臣の認定を受けたもので、兵庫県知事に届出のあるものとする) ○現場施工型	
○処理方法	○小規模合併処理(別図参照) ○合併処理(別図参照) ○	
○撤去後の補修	撤去後の補修は、原則として原状復旧とする。	
○撤去・再取付機器	(1)撤去・再取付機器については、改修仕様書第1編1.4.3による。 (2)機器撤去前に性能確認を行い、不具合があれば直ちに監督職員と協議すること。 また、取り外した機器は清掃実施後に再取り付けとし、撤去前と同様に性能確認を行う。 なお、撤去・再取り付け作業の前後における性能確認の内容及び方法は監督職員と協議し、作業前後の性能確認の結果を試験成績表にまとめること。	
○保温材等	(1)引渡しを要する配管、ダクト等の保温材は分離すること。 (2)不要となったダクト及び配管等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去すること。	
○既設機器	改修工事中に停止する以下の既設機器については、事前に監督職員または施設管理者立会いのもと性能確認を行い、不具合があれば直ちに監督職員と協議すること。 なお、性能確認の内容及び方法は監督職員との協議による。	
○既設上水槽の清掃	() 改修工事中、停止した既設受水槽・高架水槽等を使用再開する場合は、受水前に清掃・消毒を行うこと。	
○設計図書	設計図書の意図した機能を満足させるため、下記に示す各機器相互間の総合調整を行う。 ●空気調和設備 ○風量調整(測定共) ○水量調整(測定共) ○室内外空気の温湿度測定 ○室内気流及びびじんあいの測定 ○騒音の測定 ○初期運転状態の記録 ○換気設備 ○風量調整(測定共) ○騒音の測定 ○初期運転状態の記録 ○室内気流及びびじんあいの測定 ○排煙設備 ○風量調整(測定共) ○騒音の測定 ○初期運転状態の記録 ○衛生設備 ○飲料水の水質測定 ※標準仕様書による項目(水道法施行規則第10条による水質検査:51項目)+遊離残留塩素濃度 ○建築物における衛生的環境の確保に関する法律(略称:建築物衛生法)に規定される「建築物環境衛生基準」のうち、飲料水の水質検査について水道水を水源とする場合の検査項目(28項目)+遊離残留塩素濃度 ○H15.3.25付け厚生労働大臣告示119号第二の一の(1)の(4)による検査項目(5項目) ○遊離残留塩素濃度のみ ○雑用水の水質測定 標準仕様書による項目(建築物環境衛生管理基準:5項目)+遊離残留塩素濃度 ○排水先の確認 今回工事部分の排水先(公共枴までの排水管)について、着工前に配管状況を確認し、不具合があれば監督職員と協議すること	
○その他	○設計図に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則手推して監督職員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。 (1)現場説明書(質疑回答書を含む。) (2)特記仕様書 (3)図面 (4)内訳明細書の記載事項 (5)共通仕様書	

工事名称	作図	図面番号
姫路工学キャンパス空調設備更新工事	令和 年 月	全 枚
図面名称	縮尺	M—
空調設備更新工事特記仕様書(2)		3 号
兵庫県県立大学姫路工学キャンパス総務課		



工 事 名	兵庫県立大学姫路工学キャンパス体育館空調設備設置工事			全 ／
縮 尺	n o n	図 名	全体配置図	
兵庫県公立大学法人兵庫県立大学（姫路工学キャンパス）				

[機 器 表]

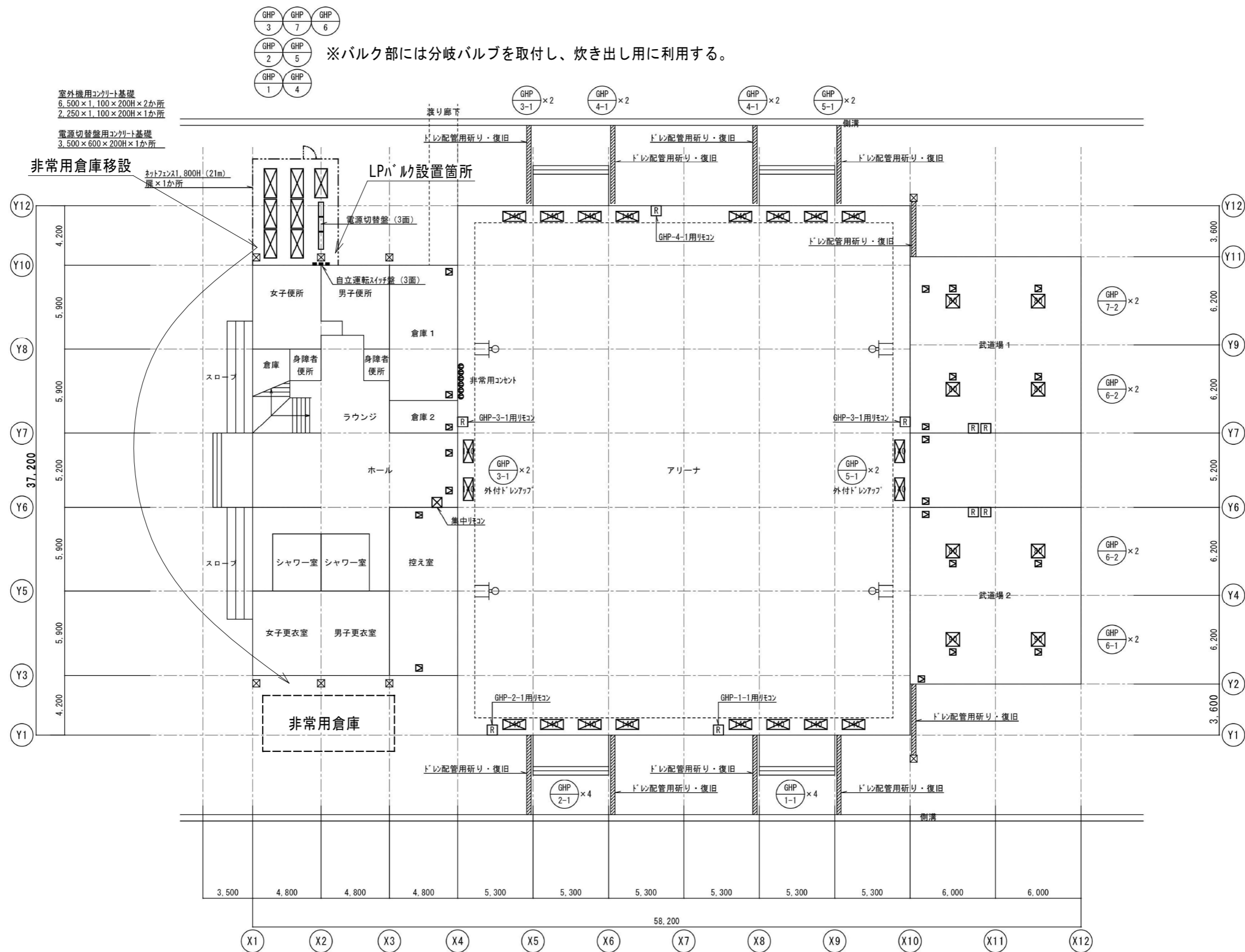
記 号	名 称	仕 様	台数	設置場所	備 考
GHP-1	ガスヒートポンプエアコン 室外機 親機	型式 : 電源自立型 臭気低減仕様 定格能力 : 56.0kW (冷房) 63.0kW (暖房) 電源 : 1φ200V 自立出力 : 1φ100V 消費電力 (参考) : 0.130kW (冷房) 0.130kW (暖房) ガス消費量 (参考) : 49.2kW (冷房) 45.6kW (暖房) 付属品 : 電源切替盤 (3台接続用)、自立運転スイッチ、分岐管、防振パッド、他標準付属品	1	GL屋外	
GHP-2 GHP-3	ガスヒートポンプエアコン 室外機 子機	型式 : 電源自立型 臭気低減仕様 定格能力 : 56.0kW (冷房) 63.0kW (暖房) 電源 : 1φ200V 自立出力 : 1φ100V 消費電力 (参考) : 0.130kW (冷房) 0.130kW (暖房) ガス消費量 (参考) : 49.2kW (冷房) 45.6kW (暖房) 付属品 : 分岐管、防振パッド、他標準付属品	1 1	GL屋外 GL屋外	
GHP-1-1 GHP-2-1 GHP-3-1	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型式 : 天吊形 定格能力 : 14.0kW (冷房) 16.0kW (暖房) 電源 : 1φ200V 消費電力 (参考) : 0.117kW (冷房) 0.117kW (暖房) 風量 : 34.0m3/min (強) 付属品 : SUS製防球ガード (下面扉付)、ワイヤードリモコン (鍵付きボックス共) × 3個 外付ドレンアップメカ (GHP-3-1用 × 2台)、他標準付属品	4 4 4	アリーナ アリーナ アリーナ	
GHP-4	ガスヒートポンプエアコン 室外機 親機	型式 : 電源自立型 臭気低減仕様 定格能力 : 56.0kW (冷房) 63.0kW (暖房) 電源 : 1φ200V 自立出力 : 1φ100V 消費電力 (参考) : 0.130kW (冷房) 0.130kW (暖房) ガス消費量 (参考) : 49.2kW (冷房) 45.6kW (暖房) 付属品 : 電源切替盤 (2台接続用)、自立運転スイッチ、分岐管、防振パッド、他標準付属品	1	GL屋外	
GHP-5	ガスヒートポンプエアコン 室外機 子機	型式 : 電源自立型 臭気低減仕様 定格能力 : 56.0kW (冷房) 63.0kW (暖房) 電源 : 1φ200V 自立出力 : 1φ100V 消費電力 (参考) : 0.130kW (冷房) 0.130kW (暖房) ガス消費量 (参考) : 49.2kW (冷房) 45.6kW (暖房) 付属品 : 分岐管、防振パッド、他標準付属品	1	GL屋外	
GHP-4-1 GHP-5-1	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型式 : 天吊形 定格能力 : 14.0kW (冷房) 16.0kW (暖房) 電源 : 1φ200V 消費電力 (参考) : 0.117kW (冷房) 0.117kW (暖房) 風量 : 34.0m3/min (強) 付属品 : SUS製防球ガード (下面扉付)、ワイヤードリモコン (鍵付きボックス共) × 2個 外付ドレンアップメカ (GHP-5-1用 × 2台)、他標準付属品	4 4	アリーナ アリーナ	
	集中リモコン	電源 : 1φ100V	1		

工 事 名	兵庫県立大学姫路工学キャンパス体育館空調設備設置工事		
縮 尺	n o n	図 名	機器表1（アリーナ）
兵庫県公立大学法人兵庫県立大学（姫路工学キャンパス）			

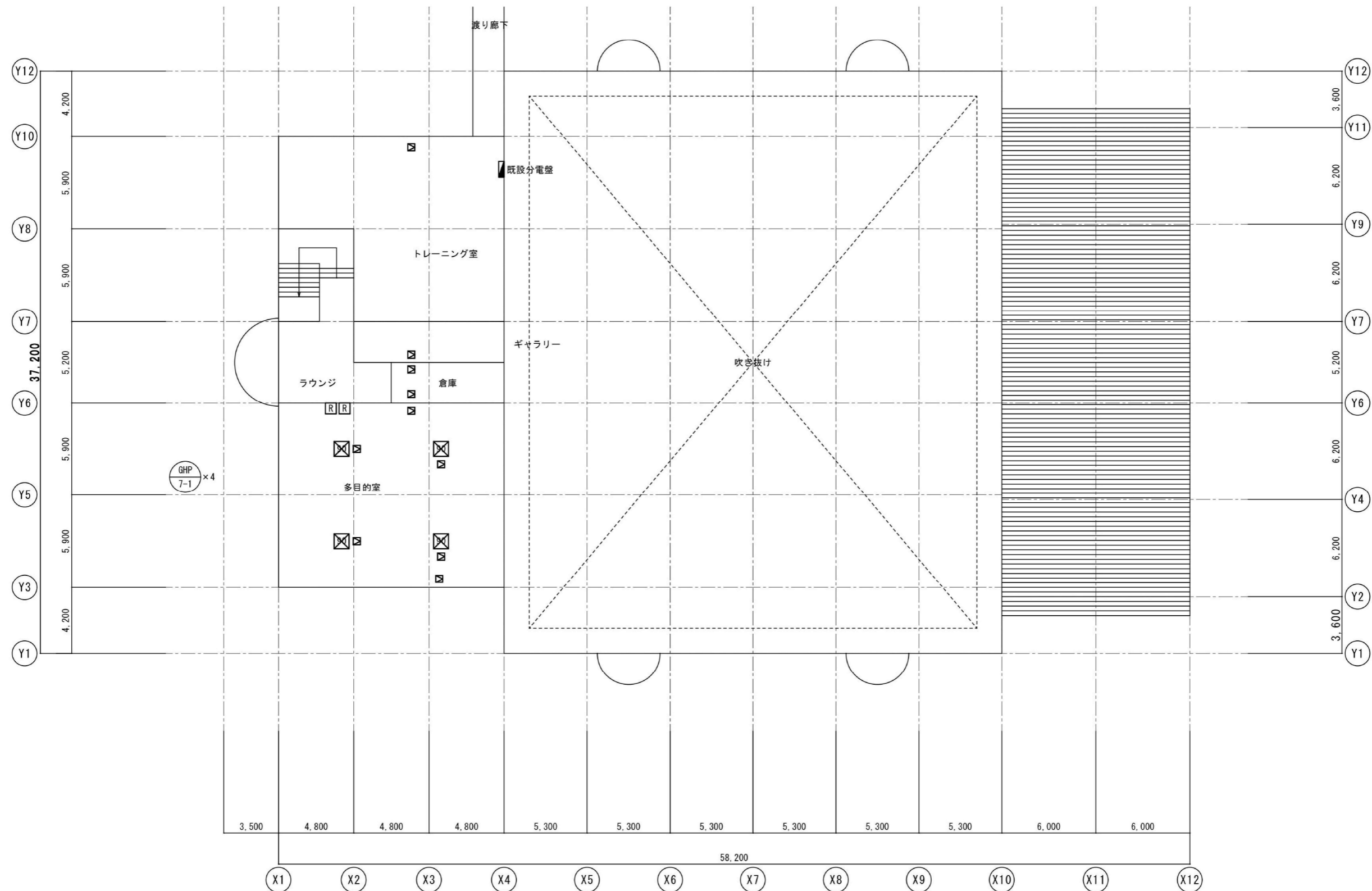
[機 器 表]

記 号	名 称	仕 様	台数	設置場所	備 考
GHP-6	ガスヒートポンプエアコン 室外機 親機	型式 : 電源自立型 臭気低減仕様 定格能力 : 56.0kW(冷房) 63.0kW(暖房) 電源 : 1φ200V 自立出力 : 1φ100V 消費電力(参考) : 0.130kW(冷房) 0.130kW(暖房) ガス消費量(参考) : 49.2kW(冷房) 45.6kW(暖房) 付属品 : 電源切替盤(2台接続用)、自立運転スイッチ、分岐管、防振パッド、他標準付属品	1	GL屋外	
GHP-6-1	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型式 : 天井カセット4方向吹出形 定格能力 : 9.0kW(冷房) 10.0kW(暖房) 電源 : 1φ200V 消費電力(参考) : 0.085kW(冷房) 0.080kW(暖房) 風量 : 35.0m3/min(強) 付属品 : 昇降グリル付パネル、ワイヤードリモコン(鍵付きボックス共)×1個、他標準付属品	2	1階武道場2	
GHP-6-2	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型式 : 天井カセット4方向吹出形 定格能力 : 8.0kW(冷房) 9.0kW(暖房) 電源 : 1φ200V 消費電力(参考) : 0.040kW(冷房) 0.040kW(暖房) 風量 : 22.5m3/min(強) 付属品 : 昇降グリル付パネル、ワイヤードリモコン(鍵付きボックス共)×2個、他標準付属品	2 2	1階武道場1 1階武道場2	
GHP-7	ガスヒートポンプエアコン 室外機 子機	型式 : 電源自立型 臭気低減仕様 定格能力 : 56.0kW(冷房) 63.0kW(暖房) 電源 : 1φ200V 自立出力 : 1φ100V 消費電力(参考) : 0.130kW(冷房) 0.130kW(暖房) ガス消費量(参考) : 49.2kW(冷房) 45.6kW(暖房) 付属品 : 分岐管、防振パッド、他標準付属品	1	GL屋外	
GHP-7-1	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型式 : 天井カセット4方向吹出形 定格能力 : 9.0kW(冷房) 10.0kW(暖房) 電源 : 1φ200V 消費電力(参考) : 0.085kW(冷房) 0.080kW(暖房) 風量 : 35.0m3/min(強) 付属品 : 昇降グリル付パネル、ワイヤードリモコン(鍵付きボックス共)×2個、他標準付属品	4	2階多目的室	
GHP-7-2	ガスヒートポンプエアコン 室内機	型式 : 天井カセット4方向吹出形 定格能力 : 8.0kW(冷房) 9.0kW(暖房) 電源 : 1φ200V 消費電力(参考) : 0.040kW(冷房) 0.040kW(暖房) 風量 : 22.5m3/min(強) 付属品 : 昇降グリル付パネル、ワイヤードリモコン(鍵付きボックス共)×1個、他標準付属品	2	1階武道場1	
	集中リモコン 昇降グリル用リモコン	電源 : 1φ100V	3		アリーナ用集中リモコンに接続

工 事 名	兵庫県立大学姫路工学キャンパス体育館空調設備設置工事		
縮 尺	n o n	図 名	機器表2(武道場・多目的室)
兵庫県公立大学法人兵庫県立大学（姫路工学キャンパス）			



工 事 名	兵庫県立大学姫路工学キャンパス体育館空調設備設置工事			全 ／
縮 尺	n o n	図 名	1 階平面図	
兵庫県公立大学法人兵庫県立大学（姫路工学キャンパス）				



工 事 名	兵庫県立大学姫路工学キャンパス体育館空調設備設置工事			全 ／
縮 尺	n o n	図 名	2階平面図	
兵庫県公立大学法人兵庫県立大学（姫路工学キャンパス）				